

●アウトライン

本論:

1. 多くの人が「見捨てられ不安」で疲れ切っている

①私たちは様々な恐れや不安を抱えている

・失敗、人、人の評価(言葉)、将来、老い、死、漠然としたものなど、、、

②多くの人が見捨てられ不安を抱え、悩み、疲れ切っている

・「見捨てられ不安」とは、現代病と言われているものの一つ。「こんなことをしたら、あの人から拒絶されるんじゃないか、捨てられるんじゃないか、、、。こんな自分を知られたらどうなるだろうか、、、」という恐れや不安がいつもあって、本来の自分、ありのままの自分でいられない、言うべきことを言えない、なすべきことができない、、、。人の前でいつも何か着飾っていて、やがては疲れ切ってしまう。そういう不安の中にいる人がたくさんいる。例)ある統計では、最近の中高生の85%がその場の空気に合わせて自分の本心を隠す、という数字が出ている。誰の前でもありのままの自分、本来の自分でいられたら本当に楽なものになあと思っけていても、なかなかそうできない、ということがあるのではない

かと思う。

・どんな人でも大なり小なり、日常生活の中で人から拒絶されたり、無視されたりという経験をし、傷付いたり、心を痛めたり、寂しさを覚えたりする。しかし、私たちよりもずっと先に、同じところを通られ、経験されたお方がいる。それは人として来て下さったイエス様である。

2. イエス様は人にも父なる神様からも捨てられた

①イエス様は人から拒絶された

・イエス様は神であられるお方であるのに、その生涯において、人々から拒絶され、ののしられ、さげすまれ、裏切られた。私たちが通らされることをすでに経験して下さった。このお方が、私たちの痛みや寂しさを本当にわかって下さり、同情して下さる。

②イエス様は父なる神様からも拒絶され、捨てられた

・そしてイエス様は、人から拒絶されたばかりではなく、父なる神様からも拒絶され、捨てられた。イエス様は十字架の上で、息を引き取られる直前に最期の力を振り絞って大声で叫ばれた。「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか、、、。」と。

・父なる神様から拒絶され、捨てられる理由の何一つないお方が、罪のゆえに捨てられて当然の私たちのために捨てられて下さった。

・そのお方が、「わたしは決してあなたを離れず、またあなたを捨てない。」と言って下さっている。「わたしはどんなことがあっても絶対にあなたのことを見捨てないよ。置き去りにしないよ。たとえ全世界のすべての人があなたのことを指差し、見捨てるようなことがあったとしても、わたしだけは絶対にあなたのことを見離さないよ。」と約束して下さっている。何と力強いお約束でしょうか！

結論:

ローマ人への手紙 8:31-39

今週一週間もただただ私たちのイエス様にだけ信頼して歩ませて頂きたい。